定例会議　令和８年度補正予算など31件可決・認定・同意 ～９月定例会議の概要～

令和８年９月市議会定例会議は、９月１日から24日までの24日間にわたり開催しました。

定例会議初日の９月１日には、こども性暴力防止法の施行に伴う条例改正、令和９年５月開催予定のふくしまシティハーフマラソン2027開催事業費など総額６億3,674万円余の令和８年度一般会計補正予算など、議案23件及び報告10件が市長から提出されました。

７日から４日間にわたり行われた一般質問には、14人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問を行いました。10日には、工事請負契約の件の追加議案１件が提出されました。

最終日の24日には、７件の追加議案が提出されたほか、各委員長報告、質疑、討論、採決が行われました。提出された議案について、いずれも原案または決算のとおり可決あるいは認定、同意しました。また、半沢正典議員が９月30日をもって辞職する旨の議員辞職の件を許可しました。



決算審査　令和７年度の決算を審査～決算特別委員会～

９月定例会議では、議長及び議会選出の監査委員以外の全議員で構成する決算特別委員会を設置し、令和７年度の決算を審査しました。

各常任委員会と所管を同じくする分科会において詳細な審査を行った後、議場で全体会の総括質疑を行いました。その後、令和７年度決算について認定すべきものとする採決を行い、定例会議最終日の本会議において認定しました。



◆総括質疑の内容（一部）

問：平和関連事業推進費について、市内中学生の広島派遣の成果は。

答：戦後80年記念事業として広島に派遣した中学生は、平和記念式典への参加や資料館見学などを通して、平和の大切さや戦争の悲惨さ、核兵器による被爆の実相を学んだ。
派遣終了後は、市戦没者追悼式や各学校の成果報告会で発表をおこなった。
派遣の様子は市ホームページに掲載のほか、人権と平和展の特設コーナーで展示した。
広く市民に対しても、平和の大切さ、命の尊さを感じていただく機会となったと認識している。

政策提言　建設水道常任委員会から政策提言

各常任委員会では、市の事務に関する調査、検証を行っています。

建設水道常任委員会で行った所管事務調査の結果について、令和８年９月24日の本会議において委員長より報告し、全会一致で承認されました。

同日、閉会後には、市議会から市長に対し、提言書を直接説明のうえ、提出しました。

今後、対応状況や結果の報告を求めてまいります。詳細はP.8をご覧ください。

テーマ	人口減少社会における持続可能な上下水道事業に関する調査
期　間	令和７年10月～令和８年８月
目　的	使用料収入の減少や施設の更新需要の増大など、上下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す一方で、施設更新などに必要な資金、人材確保が求められることから、市民生活に直結する上下水道事業の持続可能かつ健全な事業経営に資するため。
提言の主な内容	管路システムを統合し、上下水道の管路更新工事作業を計画的に同一時に実施することにより費用縮減を図るべき。 決算や事業内容などについて、市民へ分かりやすい説明を徹底し、上下水道の現状を正しく認識してもらえるよう努めるべき。